

3月8日（水）3月市議会での一般質問

当日は、朝早くから多くの皆様が傍聴にお越しいただきました。

心から御礼を申し上げます。質疑応答は次のとおりです（文責 石川ひろお）。

1 南海トラフ地震への対策について

(1) 通電火災を防ぐ対策について

Q 本市は、平成28年度から、感震ブレーカー設置補助制度を始めました。しかし、対象地域を人口集中地区（ほぼ市街化区域）に限定しました。私は、速やかに全市拡大すべきと考えます。その理由は、第1に、市の基準（1km平方に4千人）は、糸魚川火災を見ても厳しすぎます。第2に、市の基準では、燃えやすい木造が密集し道路が狭い農村部が除外されています。第3は、市民の3分の1、約6万2千人が除外されていることです。火災防止は、全世帯が行うべきで、地域要件は不要です。そこで質問です。本市の感震ブレーカー設置補助1年目の実績と評価はどうか、対象地域の拡大も含めて、今後の方針はどうか、伺います。

A 今年度の補助実績は、2月末で17件、367,000円です。まだ低い状況と
思っています。対象区域の拡大は、29年度1年間の相談状況を見ながら、検討
していきます。

(2) 市と地元を結ぶ無線機の導入について

Q 大地震の後、電気、固定電話は、すぐに使えなくなり、携帯電話は、1日後には

使えなくなる。そして95%復旧するのに、約1週間かかる、とされています。本市では、こうした事態に備えて、市役所、公民館、福祉センター、小中高等学校、保育園などの間に、無線機を導入しています。しかし、現場を預かる町内会・自主防災会には導入されておらず、導入を急ぐべきと考えます。そこで質問です。市役所と町内会・自主防災会とを結ぶ無線機について、近隣市の導入状況はどうか、本市としてはどう考えるか、伺います。

A 碧海5市の他市は、町内会・自主防災会に無線機を貸与しております。本市は、情報の錯綜を防ぐため、町内会・自主防災会への無線機の配備は考えておらず、町内会・自主防災会との情報伝達は、避難所に配備する市職員を通じて行います。

Q 町内会事務所と避難所がある小中学校とは離れています。地震後1週間は、混乱の中です。そこまで行かなければ情報交換できないのは、問題です。私は、無線機増設を含む、検討を希望します。そこで、再質問ですが、無線機導入までの間、小中学校、保育園などの避難所の無線機を使って、町内会・自主防災会と、市役所との情報伝達訓練をすべきと考えるがどうか、伺います。

A 町内会・自主防災会の情報を集約する情報伝達訓練については、今後の検討課題とさせていただきます。

(3) 安否確認の黄色いタオルについて

Q 大地震後、無事な世帯は「黄色いタオル」を玄関に掲げることで、安否確認を迅速に行う取組みがあります。東日本大震災の時、仙台市のある町内会（129世帯）では、8割の世帯がタオルを掲げ、残り2割を地区役員が回り、35分で安否確認を終えたと伝えられています。高棚町では、来年度、黄色いタオルを全世帯へ配布し、町を上げて取り組む計画です。そこで質問です。「安否確認の黄色いタオル」について、他市では、導入検討の動きがあると聞きますが、本市において導入の考えはあるかどうか、伺います。

A 今後の課題としていきたい。

2 アンフォーレの開館について

(1) 特色と開館イベントについて

Q 今年6月1日、図書館を中核とする5階建てのアンフォーレが、グランドオープンします。そこで質問です。アンフォーレの図書館は、これまでの中央図書館と比べて、どのような特色がありますか。また、オープンに向けたイベントを挙げてください。

A 蔵書能力は10万冊増えて46万冊に、座席数は2.7倍の870席に増強します。休館日は火曜日とし、開館時間は平日午前9時から午後8時までなど1時間延長します。ニーズに対応してレファレンスサービス(資料相談)を充実させま

す。イベントは、6月1日から4日まで、多くの世代が楽しめる企画を予定するほか、年間を通じて展開していきます。

(2) 駐車場について

Q アンフォーレの立体駐車場は2時間無料で、駐車場入口がある東側の道路は混雑が考えられます。満車の場合には、近くの駐車場の空車情報が必要です。そこで質問です。自家用車の利用者に対して、アンフォーレ駐車場への安全な誘導、周辺駐車場の満車・空車の情報提供を、どのように行うか、伺います。

A 市公式ウェブサイトで、駅周辺6か所の駐車場の満空状況をリアルタイムで表示します。アンフォーレ南側の歩道上には、満空表示搭を設置し、同じく2時間無料となる市役所立体駐車場など3か所の駐車場の満空状況を表示します。

Q 周辺は、現在、区画整理中ですが、6月1日のオープン時、道路は通れるようになっていきますか、再質問します。

A アンフォーレ開館時には、末広方面から入れるよう、道路整備していきます。

(3) あんくるバス・あんくるタクシーの利便性向上について

Q あんくるバス5路線は、アンフォーレへ行くのに、乗り換えが必要です。また、あんくるタクシーは、早朝便が無くなり、午前9時のアンフォーレ開館に間に合いません。そこで質問です。アンフォーレ開館を機に、あんくるバスの利便性を

どう向上させますか。あんくるタクシーの、早朝便の復活などがありますか。

A あんくるバスのバス停の名称を「御幸本町西」から「アンフォーレ」変更し、近くに移し、上屋などを設置します。また、アンフォーレに特化した各路線の時刻表を作成します。あんくるタクシーは、曜日を限定してでも朝の便を復活できるか調整中です。

(4) 館内と周辺での飲食等について

Q 昼食時に来館するケースが考えられます。最近では周辺に行ったことがないとの声も聞きます。そこで質問です。アンフォーレの館内には、持ってきた昼食を食べるスペースや店舗はありますか。図書館ではどうですか。周辺のランチマップ情報があれば、商店街振興につながりますがどうですか、伺います。

A 1階の交流多目的スペースは飲食可能です。2階以上の図書館は、一部を除き、軽食や蓋つきの飲み物なら持ち込み可とします。周辺のランチマップは、現在、駅前観光案内所キーポイントにおいて作成しており、活用していきたい。

3 市施設への指定管理者の導入について

(1) 導入の考え方と状況について

Q 指定管理者制度は、民間のノウハウや発想を活かすことで、サービス向上、経費節約などを目指すものです。本市における、指定管理者の導入に対する基本的

な考え方、導入の実績、予定について、伺います。

A 平成28年4月1日現在、市の47施設に導入しております。今後の導入については、第6次行革大綱の実行プランの中で取り組み、趣旨にふさわしいものを導入していきます。

(2) 歴史博物館への導入状況について

Q 歴史博物館は、28年度から指定管理者を導入し、「若冲と京の絵師」展では、観覧者は多く、ミュージアムショップも充実していました。そこで質問です。学芸員、学芸員以外の市、指定管理者の各役割はどう分担していますか。導入から1年になりますが、効果と課題などはどうですか。

A 学芸員は、テーマの設定、資料収集、研究等で、市職員は、統括、小中学生の見学等、指定管理者は、受付、広報PR、ミュージアムショップ等で、三者は相互に連携を図っています。効果は、入場者数が過去最高の1万5千人を超えるなど、PR効果が大きく、今後の課題は、より分かり易い展示、楽しいイベントを実施します。

4 町内会への未加入の防止について

Q 本市では、市民課窓口において、転入者にチラシを配り、地元町内会への加入を勧めています。市内には79町内会があり、歴史や決め事も様々ですので、転

入の検討段階から、地元町内会の情報を提供できれば、より理解が増すと思われます。そこで質問です。本市の町内会加入率の推移はどうか。町内会や不動産業者の協力を得て、住宅の検討段階から、町内会の情報や加入の勧めを行うことについて、市としてはどのように考えますか。

A 本市の町内会加入率は、平成8年度には約86%でしたが、22年度には74%を下回りましたが、東日本大震災の後、下げ止まり、28年度は75%です。他の自治体の事例として、不動産団体に加入する会員業者が、町内会加入を勧めるチラシを配布するところがあります。町内会長連絡協議会において、十分に協議いただきながら、加入を促進してまいります。

5 市南西部の道路整備について

(1) 県道小垣江安城線について

Q 県道小垣江安城線、約1.9km区間が、中央分離帯つき、片側2車線の県道として整備されます。地元は、中央分離帯の道路で切断され、遠回りの不便を余儀なくされる不安を感じています。特に、芦池神社からJR東刈谷駅への市道は、通りの多い道路であります。そこで質問です。交差部分について、信号機設置か、片側1車線供用の間は、中央分離帯のない横断可能な形にできないか。難しい場合、地元の不便軽減を図る対応をどう考えるか、伺います。

A 公安委員会の見解として、信号交差点の設置は、他の信号交差点との間隔が短

いことで難しく、分離帯を開けることは、集落へ進入する車両が増えるなど難しいとのことでした。地元が道路で分断されることは、2か所の市道整備で不便軽減を図る対策を進めます。

Q 県道小垣江安城線の安城市内分について、これまでの県と市の用地買収の進捗率と、今後の県と市の工事予定について、伺います。

A 県については、28年度末の用地買収率は56%です。道路築造工事は、用地取得後、暫定2車線が先行整備されます。市については、デンソー高棚製作所の西北に設置される信号交差点への市道整備に関して、28年度、測量、設計、29年度以降、用地買収、工事などを順次行います。

(2) 市道高棚榎前2号線の交差点改良について

Q 高棚町北交差点の改良整備事業について、質問です。28年度の用地買収はどうか。また、交通量の多い道路であり、信号機も移設すると思われませんが、29年度の工事スケジュールと、いつ頃が供用開始予定か、併せて伺います。

A 用地買収などは、順調に進んでいます。工事スケジュールは、29年秋ごろから現場着手し、29年度末の完成及び供用開始を目指しています。交通量の多い交差点ですので、片側交互通行による交通整理を行いながら工事を行う予定です。